～明石市水道事業の経営状況とこれから～
市民説明会　第３回

［開催結果］

１．開催概要

日時：2025 年（令和７年）５月 30 日（土）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
場所：ウィズあかし　学習室 701（アスピア明石北館７階）

２．参加者

１０名（市民：１０名）

３．主催出席者

８名

４．説明内容

（１）明石市水道事業の概要
（２）現状と課題
（３）課題に対する解決策
（４）審議会で出た意見と今後のスケジュール

５．開催状況

６．いただいた意見の要旨

※下線あり…説明会終了後、参加者にご意見等記入用紙に記入いただいた内容

【水源・水量】

（水源）

・阪神水道企業団からの受水について、神戸市を経由しており、神戸市との関係が重要になるので、よく話し合いをしてほしい。

・ＰＦＡＳは、技術的に濃度を下げることは可能であるのに、なぜ明石川河川水の水源を手放すのか。

・将来的な水源として、自前・県水・阪神水道企業団の適正なバランス割合を図ってほしい。

（水量）

・近年の気候変動により、少雨が続くことを心配する。仮に渇水となった場合は、どのような対策を行うのか。

・将来的に人口が増えた場合、水量的に供給の対応ができるのか。

・地下水が減少傾向であるが、維持するための対策が必要ではないのか。

・これからも節水等により、水道使用量が減少することは良いことである。

【水質】

・明石川河川水のＰＦＡＳ問題がとても気になる。具体的にはどのような対策をしているのか周知してほしい。

・阪神水道企業団が取水している琵琶湖・淀川の水は、ＰＦＡＳなどの水質に対する不安はないのか。

・阪神水道事業団が取水している淀川から明石市まで長距離であるが、明石市に届いた時点で水質に問題はないのか。

・地下水の塩水化対策として、地下水を淡水化する技術を導入すべきである。

・水道水は、飲み水として安全であることがわかり、安心した。

【水道料金】

（体系の適正化）

・水道料金の体系が現状のままで良いとは思わない。

・メーター口径 25 ㎜以下で水道料金が回収できていないのであれば、その料金体系を見直さなければならない。

・５m3 までの基本水量を取りやめ、１m3 以上から従量料金を設定したほうが良い。

・人口の増加に比例して、水道料金収入が増加する料金体系にしたほうが良い。

（体系の維持）

・将来的に子供の世代に、水道料金が高くならないようにしてほしい。

・使用量が少ない一般家庭の負担割合が低くなっていることに、市が経営している価値がある。

・地下水減少、河川水廃止、阪神水道企業団からの受水開始を踏まえると、水道料金が上昇予測になることがわからない。

（検討時期）
・前回の水道料金改定から 20 年経過しているが、これまでの間、料金値上げは不要であったのか。もっと早い段階から、水道料金の問題に手を付けるべきではなかったのか。
・数年前に前市長が「私が市長である限り値上げはしません」と発言していたが、その真相の是非はどうなのか。

（その他）
・世帯収入が少ない家庭に対する水道料金の減免はないのか。

【水道経営】
（人口予測）
・将来的な人口の推計予測は減少傾向であるため、国全体として出生率を増やす取組が必要である。
・人口減少に伴う水需要の減少は、水道経営にどのような影響があるのか。
・将来的な人口推計予測をシビアに低く見積もったうえで、経営戦略を立てるべきである。

（経営改善）
・市の税金が水道事業に投入できるような補助金制度を作れば良い。
・水道水を売る以外の収入を得るために、電気事業のように他事業を行って収益を増やすことはできないのか。
・そもそも、水道事業は黒字でなければならないのか。
・民間企業から工業用水を購入して、水道水として活用することはできないのか。

（阪神水道企業団）
・阪神水道企業団の受水単価はいくらなのか。今後、値上げは想定されるのか。
・今後、阪神水道企業団からの受水量が増えていくことが想定されるが、受水単価は県水と比べて高価にならないのか。

（民間委託）
・民間委託による経費削減は、民間事業者に負担を強いているのではないのか。従業員の労働環境を心配する。
・民間委託の増加による職員数の減少も、すでに限界に来ていると考える。
・民間委託により、なぜ経費が削減できるのかわからない。

（新型コロナ）
・令和２年新型コロナによる基本料金の免除は、水道経営にどのような影響を与

えたのか。
・令和２年新型コロナ過の際に、基本料金を免除した費用を、市から税金で補填してもらうべきである。

（その他）
・東京都では、物価高騰対策として、水道料金の基本料金を数か月無料にする施策が打ち出されている。明石市でも採用してはどうか。
・市として、色々な課題を先送りにしてきたツケを清算するために、今後の経営をしっかり考えるべきである。
・通信機能を備えた水道メーターを設置することにより、検針作業を省力化することができないのか。
・水道事業は公営企業であることを初めて知った。そのことを知らない市民は多いかもしれない。

【施設の更新】
（管路）
・どこの道路に、いつ埋設された管路が埋まっているのか、地図などで一般市民でもわかるようにするとともに、更新予定がわかるように「見える化」してほしい。
・管路の更新や耐震化を適正に進めるために、必要となる事業量の総額を算出すべきである。
・一定以上の口径管路の更新は、口径別に市の税金を補助金として、水道事業に支給すべきである。
・管路の更新予定及び更新済みの情報を公開してほしい。
・管路の老朽化により、断水した時の対策は検討しているのか。断水した場合、一人暮らしの高齢者や歩行困難な市民は、水の調達ができなくなる。

（その他）
・明石川浄水場は、明石川からの取水機能以外の一部機能が残るのか。
・貯水池を廃止して、例えば公園を設置するなどの土地利用をするのはいかがなものかと考える。
・阪神水道企業団の取水場や浄水場は津波に弱いと思われるので、耐震化等の対策が必要である。

【その他】
（説明会）
・説明資料のページ数が多いうえに、内容が難しくて、理解できない。
・説明される方の口調が少し早かったが、意見交換で不明な点が明らかになって良かった。
・丁寧かつ莫大な資料を作成してもらい、水道事業の現状と将来的な課題を理解することができ、感謝する。
・市民にとって、水道事業は大切なことであるため、自治会ごとで、説明会を開

催してほしい。

（埋設物工事）

・水道管・下水道管・ガス管など道路埋設物の工事の際、掘って埋めての繰り返しなので、各者が協力して、まとめて工事をしてほしい。

以上